

## 11月・12月・1月の行事日程一覧

11月4日(土)【ぶら探訪53】(要申込)  
「向東をめぐる Part 2」

11月5日(日)【測量調査】(要申込)  
山手銀山城測量調査

11月12日(日)【バス例会】(キャンセル待ち)  
「炎の陽明学者、山田方谷を学ぶ」

11月18日(土)【特別企画】(要申込)  
「街道を歩き憩亭を訪ねる3-草戸方面」

11月25日(土)【分布調査】(要申込)  
中世石造物調査「東村町」

12月3日(日)【バス例会】(要申込)  
「備後西城、宮氏盛衰の跡を訪ねて」

前号でお知らせいたしました「兵庫県太子町と海  
駅・室津を訪ねる」(講師：種本実近世近代史部会  
副部長)は都合により延期となりました。開催  
日未定のため、すでに申し込みされた方は、いっ  
たん申込無効とさせていただきます。  
「備後西城、宮氏盛衰の跡を訪ねて」(講師・田口  
義之会長)参加希望の方はあらためてお申し込み  
ください。

12月9日(土)【特別講演会】  
「備後中継表の技術史」

12月9日(土)【年末恒例】  
「望年会 in 御湯殿」

12月17日(日)【測量調査】(要申込)  
山手銀山城測量調査

12月23日(土)【分布調査】(要申込)  
中世石造物調査「新市町」

1月27日(土)【年始恒例】(予定)  
「講演会&総会&新年会」

11月5日(日)【古文書解読会】「河本家文書」  
11月11日(土)【近世・近代史部会】「近世福山を読む」  
11月25日(土)【古墳講座】「古墳講座」  
12月9日(金)【近世・近代史部会】「近世福山を読む」

## 2017(平成29) 行事案内 11月号

備陽史探訪の会の目的  
備後を中心とした地域の  
歴史を研究し、愛郷  
の精神を涵養する。  
(会則第1章第2条より)



## 行事参加の お申込は

「要申込」のある各行事参加  
の申込は以下のいずれかより  
お申込ください。

- ◎公式サイトの参加申込フォーム  
「<http://bingo-history.net>」
- ◎事務局へメール  
「[info@bingo-history.net](mailto:info@bingo-history.net)」
- ◎田口会長宅へ電話  
「084-953-6157」

〔備陽史探訪の会事務局〕  
〒720-0824  
広島県福山市多治米町5-19-8  
TEL&FAX 084-953-6157  
E-mail [info@bingo-history.net](mailto:info@bingo-history.net)

公式サイト  
<http://bingo-history.net>

11月4日(土)

ぶら探訪 53

## 向東をめぐる Part2

**要  
申込**

向東シリーズ2回目です。今回は東海岸を周り、干拓地と塩田の跡をたどったり、中世の反古裏経紙背文書について、また、和泉式部伝説など、面白い話のある地域をぶらり見て回りましょう。

**【集 合】** 午前9時 ※雨天決行  
尾道市向東農協前バス停  
(広島県尾道市向東町 8922-2)  
※車は農協には駐車できません。  
スタッフの指示に従ってください。

**【参加費】** 100円(会員) 300円(一般)

**【講 師】** 峯松 俊彦

**【主な見学地】**

干浜塩田跡、天女浜塩田跡、犬神社、山波の州歌の漁港、西金寺、へるお谷、天満宮、道満

**【その他】**

※飲み物持参、歩きやすい服装・靴で参加。



**車の場合**  
尾道大橋を渡り、そのまま道なりに突き当たりまで進む。突き当たりの信号を左折。道なりに約1.6km。「向東農協(西)」交差点をすぎ、右手に尾道市向東農協(JA尾道向東)あり。

**徒歩の場合**

尾道駅前渡船乗船→向島で下船→「駅前渡船」バス停で「潮見が浜行き」乗車(8:28)→「向東農協前」で下車。

11月5日(日)

測量調査

## 山手銀山城測量調査

山手銀山城の測量調査が始まります。測量してみたい方、見学だけの方、初めての方の参加も歓迎です!

**【集 合】** 午前9時  
里山広場(弘法の水の南側)

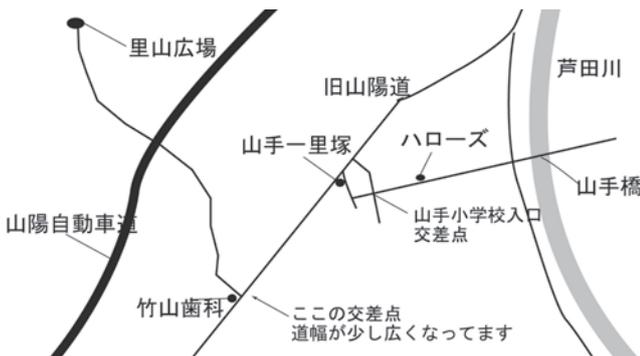
**要  
申込**

**【その他】**

※午後4時頃解散予定。

※お弁当・飲み物・筆記用具を持参してください。

※雨天の場合は中止します。



11月25日(土)

分布調査

## 中世石造物調査

十一月は、東村町を調査します。事前の所在確認や調査カード作成をお願いします。

**【集 合】** 午後1時30分  
松永支所 駐車場  
(松永町三丁目一番二九号・西部市民センター)

**要  
申込**

**【その他】**

※雨天の場合は中止し、後日実施。実施可能かどうか、微妙な天気の際は、田口会長宅へ電話での確認をお願いします。

※なお、12月23日(土・祝)は新市町、1月26日(金)は熊野町で実施する予定です。

中世の石造物の分布調査です。調査内容は本紙の調査報告の頁をご参照ください。中世の石造物に興味のある方、あるいは地元の方、ぜひ参加してみてください。参加資格はありませんので、石造物について知識のない方でも興味があれば大丈夫です。地元こんな中世の石造物があったんだ!の発見もありますヨ。もちろん、本格的に調査研究に取組みたい方も大歓迎です!

11 月 18 日(土)

特別企画

主催：備陽史探訪の会  
共催：福山の日本遺産認定を目指す会  
福山市 福山市教育委員会

## 街道を歩き 憩亭を訪ねる 第3弾!

10月9日開催の第2弾に続き、第3弾を開催!  
かつて「草戸千軒町」として栄えた草戸町の芦田川より西側の史跡と憩亭を訪ねます。当日は明王院の五重塔内部公開の日! 普段は見学できない国宝五重塔の内部を拝観できます!

**【集 合】** 午前9時00分※雨天決行  
草戸町法音寺橋東詰芦田川河川敷  
(駐車場あり)

**【参加費】** 800円(明王院拝観料等を含む)  
※中高校生300円、小学生以下無料

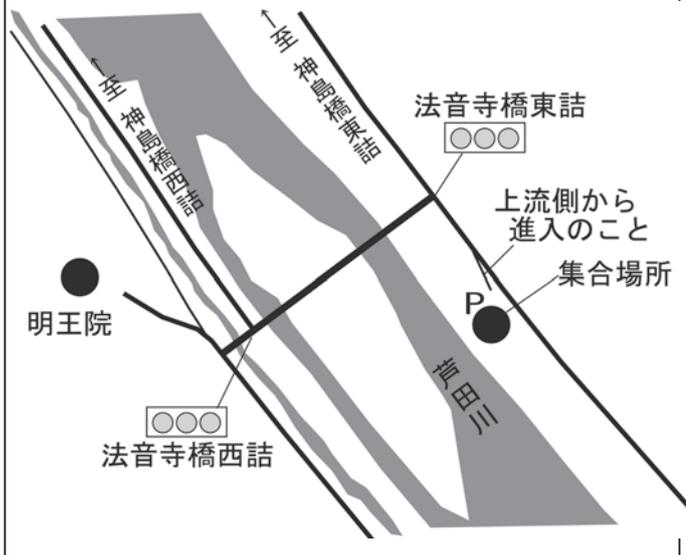
**【募集数】** 50名

**【主な見学地】**

草戸憩亭、草戸川西街道の史跡、国宝明王院本堂・五重塔

**【その他】**

※飲み物持参、歩きやすい服装・靴で参加。  
※解散は午後11時半頃、明王院門前付近にて



11 月 12 日(日)

バス例会

キャンセル  
待ちです

## 炎の陽明学者、 山田方谷を学ぶ 昼食付

山田方谷は、備中松山藩(現在の高粱市)の藩政改革を断行、さらに、江戸時代最後の老中となった板倉勝静を支えた、幕末の政治家であり、陽明学者です。その手腕を近年評価され、NHK大河ドラマの主人公に!との声も高まっています。

今年は、大政奉還から150年。改めて、激動の幕末を駆け抜けた偉人の生涯を、出身地の高粱市中井町を中心に探訪します。

地元のご協力もいただき、普段は訪れることのない見どころいっぱいのバス例会になること必定了。

**【集 合】** 午前8時20分 ※雨天決行  
JR福山駅北口観光バス乗り場

**【参加費】** 4,000円(会員)  
4,500円(一般)  
(昼食のお弁当代込みの料金です)

**【講 師】** 網本 善光(山田方谷に学ぶ会)

**【募集数】** 48名

**【主な見学地】** 山田方谷ゆかりの地

- ①方谷の里ふれあいセンター(資料館)  
山田方谷の事績を学習します。
- ②生家跡
- ③方谷園(墓参)
- ④方谷駅(JR伯備線)
- ⑤長瀬塾跡 ほか

**【その他】**

※昼食付きです。飲み物は持参ください。  
※福山帰着は午後6時予定。



方谷園(山田方谷のキセキをめぐる旅HPより)

12月11日(日)

年末恒例

特別講演会

【日時】 12月9日(土) 午後2時～  
 【場所】 福山城「御湯殿」  
 (福山城公園内)  
 【講師】 佐藤 圭一氏 (福山大学建築学科教授)  
 『備後中継表の技術史』

近世以来、最高級畳の代名詞となった備後表は、現在でも国宝修復の際や宮内庁管轄の建築に指定されます。しかし、備後地域では有志の農家数戸による極小状態で栽培されるのみとなり、「備後表」として流通する畳の多くは他県産藺草が原料です。

現在、話者の主宰する備後地域遺産研究会が主体となり、「備後藺草による備後表」の保全と継承のため、地元農家と協働で藺草を栽培しています。また、中継織という備後地域発祥の伝統技法に関しても、希少となった手織機の修復・復元や最新動力織機による技術継承を試みています。露地における藺草栽培という、建築学では少々挑戦的な方法を提示して始めた研究の一端を、2016年7月の刈り取り体験から1年半にわたる実践活動を含めて紹介します。

福山大学建築学科  
 佐藤 圭一

【会費】 無料

※講演会は事前申込不要。

望年会

講演終了後、講師を囲んで懇親会(望年会)を開催します。

要  
 申込

【日時】 12月9日(土)  
 ※講演会終了後(午後4時30分頃～予定)  
 【場所】 福山城「御湯殿」(福山城公園内)  
 【会費】 2,000円(飲み物付)  
 【申込】 12月6日(火)までに  
 申込してください。  
 ※準備の関係で当日申込は不可。

12月3日(日)

バス例会

高低差200m 歩く距離約6km

要  
 申込

中級者向き

備後西城  
 宮氏盛衰の跡を訪ねて

西城・東城は宮氏の城下町として誕生した町である。16世紀前半、久代(東城町)に興った宮高盛は西条に大富山城、東条に五本岳城を築き、居城とした。以来、大富山城を久代方西城、五本岳城を久代方東城と呼び、ここから現在の西城・東城の呼称が生まれた。今回はこの久代方西城とその城下町を訪ねる。

【集合】 午前7時50分 ※雨天決行  
 JR福山駅北口観光バス乗り場

【参加費】 3,500円(会員)  
 3,800円(一般)

【講師】 田口 義之(会長)

【募集数】 48名

【その他】

※昼食・飲み物は持参ください。

※福山帰着は午後6時頃、福山駅北口着解散予定。

【見学予定地】

浄久寺(西城町栗)

曹洞宗の寺院で宮高盛が菩提寺として創建した。宮氏歴代の墓石が残り、その山門は大富山城の搦め手門と伝わる。

大富山城跡(西城町入江)

天文2年(1532)、宮高盛が築城した山城で、以後天正19年、五代広尚が出雲に所替えになるまで宮氏の本拠として使用された。比高約200m、南北1kmに亘って様々な遺構が残っている。(庄原市史跡)

西城の町並み(西城町)

西城は大富山城の城下町として発展し、江戸時代には郷町として繁栄した。町並みには宮氏関係の神社仏閣と共に、雪深い備北の街らしい景観が残っている。

胎蔵寺跡(西城町中野)

現在福山市北吉津街にある真言宗胎蔵寺の故地で、寺跡には観音堂と中世の石塔群が残っている。(庄原市史跡)

熊野神社(西城町熊野)

比婆山山系の麓に建つ神社で、宮氏歴代が崇敬し、再建した棟札などが残っている。境内の杉の巨木は一見の価値がある。

この山の口田  
備後山城  
50選 21

山内首藤氏の本拠  
甲山城跡

- ◎山城としての評価 B
- ◎登り易さ B
- ◎分り易さ B

所在地 庄原市本郷

比高 約一三〇メートル

築城者 山内首藤氏

城の歴史 鎌倉時代末期、関東から遙々移住してきた地毘庄地頭山内通資が築城したと伝わる。通資は、はじめ地毘庄の最北端、多賀村(現高野町)に葦山城を築いて居城としたが、同地が余りに僻遠深雪の地であるとして、南下してこの城を築いたと言う。

伝説では、奈良時代、行基がこの地に来て、地藏、毘沙門天を刻んで本尊とした毘沙門堂があり、その一字を採って「地毘庄」と命名したという。この毘沙門堂は、通資の築城によって山内氏の氏寺となり、慈高山円通寺となり、

の地に来て、地藏、毘沙門天を刻んで本尊とした毘沙門堂があり、その一字を採って「地毘庄」と命名したという。この毘沙門堂は、通資の築城によって山内氏の氏寺となり、慈高山円通寺となり、



山内氏の居城甲山城址

見所 庄原盆地の北縁に聳える甲山全体を城郭としたもので、曲輪の数は数十を数える。これは、15世紀末山内氏が備後守護代に就任し、備後国衆の盟主の地位に上り、単に山内氏の居城としてではなく、国衆連合の本拠としての役割を担ったためである。

現在に至っている。山内氏は、その後この城を本拠に勢力を拡大し、戦国時代の初頭には、出雲の尼子、安芸の毛利と並ぶ有力な国人領主となっている。しかし、天文五年(1536)尼子氏の攻撃を受け落城。勢力は下降線をたどり、天文二二年(1553)毛利氏の傘下に入り、以後、毛利氏旗下の国衆として近世を迎えている。

## びんご歴史クイズ 25

↓点線で切り取ってハガキに貼って応募してください。

- ① 帝釈峡遺跡群で最初に発見され発掘された遺跡は次の内どれでしょう?  
イ) 馬渡遺跡                      □) 名越遺跡  
ハ) 観音堂遺跡                    ニ) 牛川遺跡
- ② 土肥実平が築城伝説が伝わる山城は次の内どれでしょう?  
イ) 神辺城                          □) 福山城  
ハ) 原城                              ニ) 八尾山城
- ③ 水野勝成が築城候補地としなかった場所はどこでしょう?  
イ) 常興寺山                      □) 箕島  
ハ) 亀寿山(桜山)                ニ) 宝山
- ④ 明治時代に創立されて現代まで続いている学校は次の内どれですか?  
イ) 銀河学園                      □) 盈進学園  
ハ) 英数学館                        ニ) 庄原英学校
- ⑤ 落語の元祖とされる安楽庵策伝(日快上人)が開山した浄土宗全政寺はどの城下にあるでしょう?  
イ) 三次城下                      □) 福山城下  
ハ) 三原城下                        ニ) 大富山城下

びんご歴史クイズ全問正解者に「ぶら探訪参加券」をプレゼント! 6枚綴りになっており、しかも、会員・一般共通という太っ腹企画!(但し、換金、転売はご容赦を!)  
全問正解者が多い場合は抽選とさせていただきます。あらかじめご了承ください。  
○応募申込は  
事務局宛てにハガキで応募、(左の点線で切り取って答えに○してハガキに貼ってください。)  
もしくはインターネットの公式サイトのお応募フォームから  
※電話での受付はありません。  
○応募締め切りは  
11月20日(月)まで  
※正解と当選者の発表は会報199号で。

## 古代史部会

「古墳講座」(第382回)

- ◆ 11月25日(第4土) 午後7時～
- ◆ 福山市民参画センター
- ◆ 「六世紀以降の芦田川流域の概観」

## 中世史部会

「中世を読む」

※ 11月・12月はお休みします。

※ 11月・12月の銀山城跡測量調査は引き続き実施します。  
興味のある方はどなたでも参加できます。事務局まで申し込みしてください。

## 古文書解読会

- ◆ 11月5日(日) 午後2時
- ◆ 福山市民参画センター
- ◆ 講師 いません。  
みなで読み合わせていきます。講座ではありませんのでご了承ください。
- ◆ 内容「河本家文書」

## 近世・近代史部会

「近世福山を読む」(第57回)

- ◆ 11月11日(第2土) 午前9時45分
- ◆ 福山市民参画センター
- ◆ 講師 高木康彦(近世近代史部会長)
- ◆ 内容「水野時代の城下寺社」  
第四部 城東の寺院(笠岡街道南側の寺院)  
第五部 城西の寺院  
備陽六郡志の編纂者宮内直愷の墓石のある一心寺など笠岡街道南側の城東寺院や勝成の正室ならびに側室(勝俊の生母)の五輪塔のある定福寺など城西寺院を取上げます。

「近世福山を読む」(第58回)

- ◆ 12月9日(第2土) 午前9時45分
- ◆ 福山市民参画センター
- ◆ 講師 高木康彦(近世近代史部会長)
- ◆ 内容「水野時代の城下寺社 第六部 城南の寺院」  
水野家の福山開城までの菩提寺泉龍寺や正保期頃までに存在した神嶋(入川南の町人町)の寺院群の行方などを取上げます。

### バス例会のキャンセルについて

3日前のキャンセルはキャンセル料は不要ですが、3日から2日前のキャンセルは参加費の半額、当日のキャンセルは参加費の全額を申し受けます。

### 行事に参加する時は、会員証を忘れずに

行事に参加する時は、会員証を携帯してください。必要な時にご提示願います。よろしくご協力ください。(特にバス例会などは名札として代用しますので、忘れないようにしてください。団体行動する会員の身分証明でもあります。)

## 備陽史研究第26集 原稿を募集!

締め切りが12月末に延びました☆

内容は、備後郷土史に関する論考・研究発表・史料紹介など、未発表のものに限ります。また、学術誌としての性格も持っておりますので、投稿された原稿は掲載するに妥当かどうか審査させていただきますので、ご了解下さい。

## 備陽史探訪の会

【事務局】

〒720-0824 広島県福山市多治米町5-19-8

TEL&FAX 084-953-6157

E-mail info@bingo-history.net

公式サイト

<http://bingo-history.net>

## 会報199号原稿募集!

12月発行の会報199号の原稿を募集しています。備後郷土史に関するものは何でも差支えなし。論文・論考・資料提供・絵・写真・俳句・随筆・昔語り・質問、他、例会報告など会員の皆様の投稿をお待ちしております。11月16日(木)までに事務局編集部まで。規定は16文字×120行。(論文・論考は16文字×244行程度)